

高浜市総合計画審議会（第1回） 会議録			
日時	平成29年5月15日（月）午後7時～8時30分		
場所	高浜市役所 3階 議場（多目的ホール）	傍聴人数	5名
出席者	委員	中川幾郎、宮田克弥、伊藤詠子、神谷久美子、菅野洋一、後藤恵理、酒井幸代、杉本ゆかり、鈴木幸利、田代峯子、都築一彦、中村みどり、横山英樹、神谷坂敏 (14名出席)	
	行政	市長 吉岡初浩 教育長 都築公人 総務部長 内田徹 市民総合窓口センター長 大岡英城 福祉部長 加藤一志 こども未来部長 中村孝徳 都市政策部長 深谷直弘 議会事務局長 加藤元久 財務グループ リーダー 岡島正明 文化スポーツグループ リーダー 鈴木明美 学校経営グループ リーダー 内藤克己 学校経営グループ 主幹 村越茂樹 こども育成グループ リーダー 都築真哉 地域産業グループ リーダー 板倉宏幸 市民生活グループ リーダー 芝田啓二 都市整備グループ リーダー 田中秀彦 都市防災グループ リーダー 神谷義直 地域福祉グループ リーダー 木村忠好 保健福祉兼生涯現役まちづくりグループ リーダー 磯村和志 人事グループ リーダー 杉浦崇臣 税務グループ リーダー 山下浩二 行政グループ リーダー 山本時雄 企業支援グループ リーダー 島口靖 上下水道グループ リーダー 杉浦睦彦 介護保険・障がいグループ リーダー 竹内正夫 福祉まるごと相談グループ リーダー 野口真樹 (26名出席)	
	事務局	企画部長 神谷美百合 総合政策グループ リーダー 野口恒夫 同 主幹 榊原雅彦 同 主査 山本久美 同 主事 稲垣翔太 同 主事 加古博紀 (6名出席)	

<p style="text-align: center;">次 第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長あいさつ 2 辞令交付 3 委員紹介 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> 1) 会長・副会長の選出について 2) 諮問 3) 専門部会の設置について 4) 後期基本計画 策定基本方針について 5) 中期基本計画「施策課題カルテ」について 5 その他
<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>資料1：高浜市総合計画審議会委員名簿</p> <p>資料2：高浜市総合計画審議会条例</p> <p>資料3：後期基本計画 策定基本方針</p> <p>資料4－1～4－11：中期基本計画 施策課題カルテ</p>

1. 市長あいさつ

お忙しい中、総合計画審議会にご参集いただきありがとうございます。また、委員の皆さま方におかれましては、委員をお受けいただきありがとうございます。

後期が第6次総合計画の最後の期となる。前期・中期を踏まえての後期の策定となるが、目指す高浜像に少しでも近付けるような計画づくりをしていただければと思う。

2. 辞令交付

市長から辞令をお渡しする。市長がお席を回るのので、その場でお受け取りください。

3. 委員紹介

お手元に資料1として「委員名簿」を配布させていただいているので、配布をもって委員紹介に代えさせていただきます。

4. 議題

1) 会長・副会長の選出について

行政： 本来ですと、審議会の会長が議事取り回しを行うこととなっているが、本日は1回目であるため、会長が決まるまでの間、市長が議事進行をさせていただくので、ご了承ください。

市長： それでは、議題1「審議会の会長・副会長の選出」に入らせていただく。高浜市総合計画審議会条例第4条の規定により、これから会長・副会長の選出をお願いしたい。どなたか立候補または推薦される方はあるか。

委員： 会長には、前期・中期の審議会で会長をお務めいただき、第6次総合計画の策定時から関わっていただいている中川幾郎先生をお願いしたい。また、副会長には、私と同じく総合計画推進会議委員として活躍され、昔から深く市政に関わっておられる、宮田克弥さんをお願いしたい。

市長： ただいま、会長に中川幾郎先生、副会長に宮田克弥さんというお声があったが、いかがか。

(異議なしの声)

市長： 「ご異議なし」とのお声をいただいたので、会長を中川幾郎先生、副会長を宮田克弥さんをお願いしたい。

では、会長となられた中川幾郎会長から一言頂戴できればと思う。

会長： 初心に戻って、後期の計画づくりに携わっていきたい。

高浜市民ではなくよそ者だが、他市の事例などをお示ししながら、優れている高浜市の総合計画をさらにブラッシュアップしていけたらと思う。

2) 諮問

市長： それでは、会長が決まったので、会長へ諮問させていただく。

(市長より諮問文を読み上げ、会長へ手渡す)

それでは以後の取り回しを、会長をお願いしたい。

3) 専門部会の設置について

会 長： それでは、議題3「専門部会の設置について」、事務局より説明をお願いしたい。

行 政： (資料2を説明)

会 長： ただいま説明があったが、ご質問があればお願いしたい。

(質問なし)

会 長： 会長・副会長以外の委員は、いずれかの部会の委員となるとのことだが、事務局で案はあるか。

行 政： (事務局が専門部会(案)を配布)

会 長： ただ今、事務局から案が配布されたので、読み上げさせていただきます。

福祉環境部会：菅野洋一委員、田代峯子委員、酒井幸代委員、中村みどり委員

都市基盤部会：都築一彦委員、横山英樹委員、鈴木幸利委員、伊藤詠子委員

総務教育部会：神谷久美子委員、杉本ゆかり委員、後藤恵理委員、神谷坂敏委員

以上であるが、事務局案にご異議ないか。

(異議なしの声)

会 長： 「ご異議なし」とのことであるので、専門部会については、事務局案のとおりとする。

なお、審議会条例第7条第3項に「部会に部会長、副部会長を置き、委員の互選によって定める」とされている。少し時間をとるので、それぞれの部会で、部会長、副部会長をご協議いただきたい。

(部会に分かれて協議)

会 長： では、決まったようであるので、読み上げさせていただきます。

福祉環境部会 → 部会長：菅野洋一委員、副部会長：田代峯子委員

都市基盤部会 → 部会長：都築一彦委員、副部会長：横山英樹委員

総務教育部会 → 部会長：神谷久美子委員、副部会長：杉本ゆかり委員

に決まったので、よろしくをお願いしたい。

4) 後期基本計画 策定基本方針について

会 長： 続いて、議題4「後期基本計画策定基本方針について」、事務局から説明をお願いしたい。

行 政： (資料3を説明)

会 長： ただいま、事務局から説明があったが、こちらについては、基本方針であるので、報告事項として取り扱わせていただきたいが、ご質問があればお願いしたい。

委 員： 審議会の答申について、中期の時の答申書を見させていただくと、総合計画(中期基本計画)の第3章にあたる部分そのまま答申書になっていたように思うが、今回のアウトカムはそういう形になるのか、違う形で答申書を出されるのか。

あくまで作るのは行政であるため、審議会としては意見を述べてそれで終わりということでもいいのか、第3章にあたる部分を審議会として作らなければいけないのか。

- 行政： 答申については、中期と同様の形を予定している。
審議会の役割として、一から審議会で計画を作り上げていくというわけではなく、行政で作っていったたたきについて、市民目線でのご意見、精通する部分についてのご意見をいただきながらブラッシュアップをしていく。
- 委員： 審議会でいろいろな意見が出ると思うが、最終的なアウトカムがこの成果品と同じだと、その間の審議会の審議でどんな意見が出たかという話が議事録を見ない限り誰にも分からなくなってしまうがそれでいいのか。
スケジュールを見ると、12月下旬の審議会で後期基本計画の素案に対して修正案までやれということになっているが、パブコメに対する意見も審議会で言わないといけないのか。
- 行政： パブコメの回答については、行政でたたきを作って、そこに審議会での意見を添えて行政から回答をすることを考えている。
総合計画の第3章のアウトカムを審議会で作っていただく形になるが、審議会でも文章を一から作るということではなく、行政が作るたたきについて、「もう少しこういった観点が必要なのではないか」といった意見を市民目線で委員の皆さんからいただいて、その視点を基に行政がブラッシュアップしていく。
- 会長： もっともなご質問をいただいた。少し言葉を足すと、第6次総合計画を作るにあたって、当時私も携わっていたが大改革をやった。体系をガラッと変えた。市民参画の各部会に分かれて約1年強かけてたたき上げてもらった。
行政計画とは言うけども、市民側の責任もある。民間の責任もある。行政側の仕事、市民側の仕事というくりにしたという点は、全国でも先駆けたそういう総合計画であったのではないかと思う。
とは言いながら、それでスタートした前期のあと、中期は前期計画で掲げた目標・指標を微調節した、おそらく今回の後期もその微調節をするのではないか。大きな見直しをすれば第7次総合計画でするのであろうとイメージしている。むしろ率直なご意見をいただいた方が有効な議論になるのではないかと思う。

5) 中期基本計画「施策課題カルテ」について

- 会長： 続いて、議題5「中期基本計画 施策課題カルテについて」、事務局から説明をお願いしたい。
- 行政： <目標(1)の「施策課題カルテ」を例にとり、冊子構成を説明>
- 会長： それでは、目標(1)から説明をお願いしたい。
- 行政： <目標(1)の説明>
- 行政： <目標(2)の説明>
- 行政： <目標(3)の説明>
- 行政： <目標(4)の説明>
- 行政： <目標(5)の説明>
- 行政： <目標(6)の説明>
- 行政： <目標(7)の説明>
- 行政： <目標(8)の説明>

行政： <目標（９）の説明>

行政： <目標（１０）の説明>

行政： <目標（１１）の説明>

会長： 1回目の審議会から、たくさんのご説明をいただいたので、一通り聞いてだけではわからない部分も多々あるかと思う。本日の説明をお聞きになって、お帰りになってから再度目を通していただき、わからない点があれば個々の所管グループないしは事務局にお尋ねいただきたい。

では、最後に、委員のみなさまから、ただいまのご説明を聞いての質問や、全体の感想などおひとり1分程度でご発言いただきたい。

委員： 財政の部分で一つ聞いておきたい。学校が複合施設になっていくという話があったが、学校と複合される施設とどちらが主になって進めていくのか。

いろいろ課題がはっきりしているので、その課題に対してうまくPDCAを回していきたい。

委員： 目標（１）で「情報発信の積極的な展開」に取り組むという話があったが、地域活動だとか、行事等の参加率が非常に低いと感じる。情報発信のツールとしては広報や回覧板が主だと思うが、イコール町内会の加入率が大きいと思う。

私も町内会に携わっていたが、加入率が70%に達していないことに驚いた。なかなか町内会に入っていないという背景があるので、情報をうまく発信し、町内会の加入率を上げれば、指標がかなり上がってくるのではないかと思う。

委員： これだけの分量の資料を読むのはかなり大変でいろいろ疑問に思う点がある。例えば基盤整備だと、どこどこの道路を直すなど個々具体的に出てくるが、人とのつながりを強化しましょうだとか、こんな人を救うためにこんなことをしましょうというような、目に見えにくい部分が混在しているので、それをうまく表現していただけると読みやすくなると思う。

なぜそう思うかという、表現が抽象的すぎる部分と、ものすごく具体的な部分が混在しているからなのだろうと思う。

委員： 部局を越えて関わっていく部分があるなど感じたので、審議会を通して課題の解決につながればと思う。

委員： 行政の方がいろいろ市民のことを考えてくださっているのがよく分かった。農業のことももう少し考えていただけたらと思った。

委員： いろいろ数字が挙がっているが、数字に表れない部分として、中央保育園の前にある花壇は以前は草が多く生えていたが、市民の方が自分の好きな花や家にある花を植えてくださって、それが他の方にも影響を与えていくのか、いろいろな花が咲くようになってきた。そういう市民の姿を作り上げていけるといいなと思う。

委員： それぞれの話を聞いて、いろんな活動に私自身が関わっていることを誇りに思った。自分が今高浜市民として関わっていること、体験していること、実感していることが委員としての仕事に活けるといいなと感じた。

委員： しあわせづくり計画の実践や高校生SBP活動など、いろいろなアイデアが出てきている。これからも前向きに取り組んでいただきたい。

- 委員： 「情報発信の積極的な展開」はとても大事な視点である。今までの経験で感じたのは、いろんな催しへの働きかけが必要であるということである。
- 委員： 若い世代も含め全世代に向けて事業に取り組んでいくということが見て取れてうれしく思った。
- 教育委員会の部分で、今後将来に渡って通用する力にぜひ「想像力」も加えてほしい。また、たくさん外国人が住んでいるので、外国の方の目線というのにも気を配っていただきたい。
- 委員： 17年前に高浜に引っ越してきて驚いたのが、吉浜地区に子ども会がなかったことである。やはり地域の関係が薄くて、集団登校ではなかったため、近所の人たちは当ても現在も子どもの入学時期には苦勞している。
- 私の住む地域も町内会の加入者が少なく、皆口を揃えて役をやらないといけなから面倒臭いと言う。その面倒臭いを取り払っていかないと、何をやるにしてもいつも同じメンバーになってしまうと思う。新しい顔ぶれをいかにして集めるかということを対策として考えてほしい。
- 委員： 高浜が住み良いまちになるために、行政のみなさんが努力されていることがよくわかった。これからもどんどんよいまちになっていくといい。
- 委員： 委員からご指摘いただいた指標の件について、行政の仕事は定性的にならざるを得ない部分があり、それも無視できない。ただし、こういう指標の方がいいのではないかといったご意見はいただきたいと思っている。
- 特に財政と教育の関係は短期的な課題ではない。後期だけでなく第7次にながっていくものだと思うので、今後とも忌憚のないご意見をお願いしたい。
- 会長： それでは、学校における主導権に関する質問について、町内会の加入率アップに関する施策について、農業に関する記述について、行政よりお答えください。
- 行政： 学校を核としたまちづくりを進めており、教育環境・学習環境を整えるという意味においては、学校が主体となってくる。学校の施設をいかに地域と共有して有効に活用できるかについて検討を進めている。
- 行政： 町内会の加入率アップに向けて様々な策を打っているが、なかなか有効的な手立てがない。自治基本条例に掲げる「参画・協働・情報共有の三原則」が重要になってくる。魅力ある活動を増やししながら町内会活動に参加いただけるようにしていきたい。
- 指標については、市民の方にも分かりやすい指標を委員のみなさまのご意見を伺いながら設定していきたい。
- 行政： 農業についても、ジャンボ落花生の事業など様々な事業を進めている。
- 会長： もう一点、今後将来に渡って通用する力に「想像力」を加えるという点についてご見解はあるか。
- 行政： 大切な視点であると考えため、今後検討していく。
- 委員： 農地は今後減らしていく考えなのか。
- 行政： 今後も農地は保全をしながら守っていくという姿勢である。
- 会長： アウトカムは結果指標である。そういったものは市民意識調査で代用しようという理解があった。しかし、この指標が絶対に正しいとは一切思っていない。

この指標を変えるべきかどうか、目標値も含めてどう考えるかを問うている。第2指標としてアウトプット指標があるが、なるべくアウトカム指標にしようということで前期で決めた。

28年度の最終成果は出ていないが、27年度で少し気になる現象が出てきている。1つは子どもたちが元気がなくなっているのではないかと、子育てしやすい環境というのをお母さんたちが感じなくなっているのではないかとという兆候が出てきた点。その一方でボランティアの数、ボランティアを経験している人が減ってきている。これはやはり社会が高齢化してきて数が失われてきている。子どもと高齢者あるいは中年、双方に一つの社会的な背景からもプレッシャーがかかってくるかもしれない。高浜ではあまりないかもしれないが。

もう一つフィジカルな部分でも都市整備であるとか、公園については非常に評価が高いという点では行政としては頑張っているけども、そういう社会機運が色濃く高浜を新たに覆い始めているのかなという危機感を感じている。

5. その他

会 長： 以上、本日の議題は全て終了したが、その他事務局から何かあればお願いしたい。

行 政： まず、本日の議事録についてであるが、まとめ次第、委員のみなさまへお送りする。お気づきの点があればご意見をいただき、意見を反映させ、議事録の確定ということで、書面表決とさせていただきます。

2点目は、第2回審議会の日程についての確認である。次回は6月27日(火)午後7時から、場所はいきいき広場2階のホールで開催する。

会 長： 長時間にわたるご審議、ありがとうございました。これをもって、第1回高浜市総合計画審議会を終了する。